



ロータリーは機会の扉を開く

週報

2020~2021年度 RI 会長 ホルガー・クナーク
(Herzogtum Lauenburg-Mölln ロータリークラブ<独国>)

RI 第 2730 地区ガバナー 風呂井敬 (鹿屋西 RC)
鹿児島県市内ガバナー補佐 B グループ野井倉洋豪 (鹿児島東南 RC)
A グループ上川映男 (鹿児島南 RC)

鹿児島東南ロータリークラブ

会長 飯野 和男 幹事 東 則秋 副会長 居川 亮
(例会日、場所) 毎週火曜日、鹿児島市与次郎一丁目8-10
サンロイヤルホテル Tel 099-253-2020
(事務局) 〒890-0062 鹿児島市与次郎一丁目8-10
サンロイヤルホテル4F Tel 259-6855 Fax 259-1622
E-Mail info@tounanrc.jp ホームページ <http://www.tounanrc.jp/>

第 2455 回 No.10

2020年10月6日(火)

本日のプログラム ガバナー補佐卓話

10月 誕生日おめでとうございます。

平塚五郎君(19日) 渡海谷宗宜君(22日)

9月15日第2454回

会長挨拶

会長 飯野 和男

あいにくの曇り空でお月さまは顔を出してくれませんが観月家族会です。

台風の被害はなかったでしょうか。月曜日(13日)に島津ゴルフ場に行きました。大木が6本くらい根っこから倒れていました。後片づけに2日かかったそうです。私の所はマンション6階部分の隔壁が2枚ほど破損しました。駐車場のセメントの隙間より雨漏れもして渡海谷さんにお世話かけています。

本日はマーガレット会の皆様にも久しぶりに参加いただいておりますが、コロナ対策のため座席を工夫しております。

先週は学校が4月・5月休校のため、いつもの学校検診が9月になってやっと出来ることとなり、お休みいただきすみませんでした。小学校と高校でしたが、現代の子供たちは虫歯が少なく歯磨きもちゃん

とできています。高校生は顎関節症がみられました。食事の時に毎回同じ場所に座って食べたり、テレビを見たり頬杖をついたりするとなりやすいと云われています。時々位置をかえたりして姿勢をずらすとよいようです。

鹿児島ではコロナの感染者も0の日が続いております。しかし他クラブでは感染者が出たり休会しているところもあります。幸いに当クラブでは例会を続けられています。ですが油断は禁物です。皆様気を付けて元気に過ごしましょう。



ゲスト・ビジター紹介

まーがれっと会の皆様
鹿児島東南ローターアクトクラブから
妙見美穂（みょうけんみほ）さん
平間知訓（へいまともりの）さん
烏丸会員奥様 烏丸聡子さん

会務報告

- 10月3日に開催されます地区補助金事業始良カルデラツアーの出欠確認が20日日曜日までとなっておりますのでよろしくお願い致します。
- 来週は祝日、再来週は第5週のため休会です。次の例会は10月6日になります。
- 3月開催予定でした第7回日台ロータリー親善会議福岡大会はコロナウィルス感染症収束の展望がみえないため中止となりました。

出席報告

会員数	22名	前々回出席者	13名
出席免除	1名	メイクアップ	1名
出席会員	12名	出席訂正率	66.7%
出席率	57.1%		

スマイル報告

☆飯野和男君一先週欠席してしまいすみません。志学館大学の方々も訪問されず心配していました。連絡ミスのようなでした。

本日 2,000 計円 71,000 累計円

RA マイル報告 今回はございません。

本日 0 円 累計 5,000 円

本日のプログラム 夜間観月家族例会



居川会員の乾杯で観月会スタート



野井倉会員より、元米山奨学生郭世榮さんのお子さんが産まれたと幸せな報告がありました。



田中会員の締めで閉会となりました。

理事会報告 2020年9月15日18時～

於:サンロイヤルホテル

出席者:飯野 東 居川 上原 別府 田中 田代
中馬(敬称略)

1 プログラムについて

10/6 新入会員卓話 宮下会員

10/13 志學館大学模擬面接会準備

10/21 夜間家族例会観月会 18時～理事会

10/27 祝日休会

11月17・24日の例会プログラムは地区大会報告となっておりますが、地区大会が5月開催に変更となりましたので例会プログラムも変更いたします。

2 志學館大学模擬面接会について

今回はコロナウイルス感染対策のため参加人数を減らし、志學館大学にて開催します。学生の参加人数は15～20名で3班にわけ、面接官も9名で行います。当日は12:30～13:30に志學館大学にて例会おこなったあと、14:00～16:30で模擬面接会を行う予定です。

3 地区よりRYLA開催について

地区RYLA委員会よりコロナウイルス感染症蔓延のため今年度の開催について賛否確認がありました。鹿児島東南RCは今回、開催のホストクラブのため賛否の意思表示はせず、地区や他クラブの意向に従うことといたしました。

国際ロータリーホームページより

アフリカ地域の野生型ポリオウイルス根絶が宣言される

アフリカ地域の野生型ポリオ根絶という快挙を受け、ロータリーとGPEIパートナー団体は、今後も粘り強さとコミットメントがあれば野生型ポリオの世界的な根絶は可能であることを示しました。世界保健機関(WHO)は、8月25日、WHOアフリカ地域の全47カ国において野生型ポリオウイルスの伝播が正式に断ち切られたことを発表しました。これは、ロータリーが最優先事項として掲げてきたポリオの世界的根絶に向けた、歴史的かつ重要な前進となります。アフリカ地域での数十年にわたる懸命な努力によるこの勝利を受け、ロータリーと世界ポリオ根絶推進活動(GPEI)のパートナー団体(米国疾病対策センター[CDC]、UNICEF[国連児童基金]、ピ

ル&メリンダ・ゲイツ財団、Gaviワクチンアライアンス)は、この公衆衛生上の達成を称え、強いコミットメント、連携、粘り強さがあれば世界からポリオを根絶できることの証であると述べました。

アフリカ地域の野生型ポリオ根絶の認定は、独立したアフリカ地域認定委員会(ARCC)が現地で徹底した検証を行った上で行われました。同委員会は、新規症例がないことを確認し、さらにポリオの監視・予防接種・検査の能力についてカメルーン、中央アフリカ共和国、ナイジェリア、南スーダンから提出された文書の分析も行いました(同地域の他43カ国からの文書は既に委員会が受理)。アフリカ地域の野生型ウイルスによるポリオの最後の症例は、2016年8月、2年間の無症例期間の後、ナイジェリア北部のボルノ州で記録されたものでした。紛争や人口移動といった課題が、現地の子どもへの予防接種を阻む要因となっていました。アフリカ地域で野生型ポリオウイルスが根絶された今、世界人口の90%以上を占めるWHOの6地域のうち、5地域でポリオが根絶されたこととなります。WHOの東地中海地域に含まれるアフガニスタンとパキスタンでは、現在も野生型ウイルスによるポリオの感染が続いています。

アフリカ地域の野生型ポリオ根絶の認定は、ライブストリームイベントで行われました。イベントには、ナイジェリアのムハンマド・ブハリ大統領、ビル・ゲイツ氏、国際ロータリー会長のホルガー・クナーク氏、ナイジェリア・ポリオプラス委員長のツンジ・フンショ氏、そのほかのGPEIパートナー団体の代表らが出席し、スピーチを行いました。祝賀イベント後には、記者会見が開かれました。クナーク氏は、新型コロナウイルス流行の中で人びとは良いニュースを必要としている、と述べました。今後も大きな課題が残されていることに言及した上で、「だからこそ、この大きな成果を認め、この快挙を実現するまでに重要な役割を果たしたすべての人を称賛しなければなりません。長年の努力があったからこそ、ここに至ることができたのです」と語りました。

数十年にわたる取り組みの成果アフリカで野生型ポリオウイルスが検知されていないことは、1996年の状況を考えると極めて大きな進展と言えます。同

地域では、1996年に75,000人の子どもがポリオによるまひを患っていました。その年、カメルーンで開かれたアフリカ統一機構の会議で、アフリカ各国の首脳がポリオを同大陸から根絶することを誓いました。その同じ年、この取り組みを強化するため、ロータリー、GPEIパートナー団体、南アフリカのネルソン・マンデラ大統領（当時）が、アフリカでのポリオ根絶をめざす「Kick Polio Out of Africa」キャンペーンを開始。サッカーの試合や有名人の起用を通じてポリオへの認識向上を図り、アフリカの30カ国以上が初の全国予防接種日を開催しました。マンデラ氏の呼びかけにアフリカ諸国のリーダーが応え、すべての子どもにポリオワクチンを投与する取り組みが開始されたのです。予防接種キャンペーンで経口ポリオワクチンの投与を受けるコートジボワールの子どもたち。1996年以来、アフリカだけでなく世界中の無数のロータリー会員が、資金を募り、子どもたちにワクチンを投与し、予防接種を呼びかけ、GPEIによる症例への対応を支えてきました。90億服以上の経口ポリオワクチンが投与され、アフリカ地域で推定180万人のまひ症例を防いできました。同地域では毎年、2億2000万人が子どもが数回のポリオ予防接種を受けられるように、約200万人のボランティアが活動しています。同地域のポリオ根絶に対するロータリー会員からのこれまでの寄付は、約8億9000万ドルに上ります。この資金は、ポリオのサーベイランス（監視）、ワクチンや人員の輸送、認識向上キャンペーン、全国予防接種日のためにロータリーがポリオプラス補助金を支給するのを可能としてきました。ロータリーのナイジェリア・ポリオプラス委員長であるツンジ・フンショ氏は、アフリカでのポリオ根絶活動におけるロータリアンの多大な貢献について、次のように述べています。「資金調達、子どもへの予防接種、石鹼や健康キットの提供など、ロータリー会員は、ポリオ根絶という最優先目標を達成するために粘り強さと固い決意を示してきました」ロータリー会員が構築を支えてきた広範なポリオのインフラは、新型コロナウイルスと2014年のエボラ危機への対応、および黄熱病や鳥インフルエンザから地域社会を守るためにも活用されてきました。GPEIの現時点での課題は、ポリオの感染が途絶えたことのないアフガニスタンとパキス

タンの2カ国における野生型ポリオウイルスの根絶です。アフリカでも引き続き、野生型ポリオウイルスが戻らないように、またワクチン由来のポリオウイルスから子どもを守るために、日常的な予防接種を強化する必要があります。ワクチン由来ウイルスによる症例はまれですが、アフリカの一部地域で症例が確認されています。ポリオを根絶するには、質の高い予防接種キャンペーンを引き続き優先して展開しなければなりません。新型コロナウイルスの流行中も、子どもへのポリオ予防接種を行いつつ、医療従事者を新型コロナウイルスから守り、感染拡大につながらないようにする必要があります。世界の保健関係者や専門家は、アフリカだけでなく「世界からポリオを根絶する」という最終目標を達成するには、今後も資金調達とアドボカシーを維持していくことが重要であると述べています。この目的のために、ロータリー会員は引き続き重要な役割を担っています。クナーク氏はこう述べます。「今回の快挙はポリオのない世界に向けた大きな一歩です、しかし、闘いはまだ終わっていません。世界のポリオ根絶を実現するには、ロータリー会員と寄付者からの支援、そして医療従事者による懸命な努力が必要とされます」

★記帳メーキャップ受付(11:30~12:30)。			
10/13 ガバナー公式訪問		10/20 →21日(水) 志學館大学模擬面接会	10/27 夜間例会
月/日	クラブ	例会場	プログラム
10/7 (水)	鹿児島南	サンロイヤル	ガバナー公式訪問
	鹿児島西	山形屋	クラブフォーラム
	鹿児島西南	ゆうづき	クラブ協議会
10/8 (木)	鹿児島東	サンデイズイン	ガバナー公式訪問
	鹿児島北	レプラホテル	観月夜間例会
	鹿児島SW	鹿児島東急REI	クラブフォーラム
10/9 (金)	鹿児島	山形屋	ガバナー公式訪問
	鹿児島大学 アカデミー	鹿児島大学	ゲスト卓話
10/12 (月)	鹿児島中央	山形屋	ゲスト卓話
	鹿児島 令和	鹿児島東急REI	ガバナー公式訪問
10/13 (火)	鹿児島城西	鹿児島東急REI	休会